

平成 28 年度「鹿大防災セミナー」報告

調査研究部門

防災に関する教育・研究や行政等の取り組みについて、本センターに係わる教職員および関係機関の情報交換や交流を目的に平成 25 年度から「鹿大防災セミナー」を実施している。以下、平成 28 年度に開催した第 12 回から第 15 回の概要を報告する。

第 12 回 平成 28 年 8 月 3 日（水）（担当：放射線災害分野責任者 秋葉澄伯 教授）

講演

「放射線災害部門における医学部保健学科のこれまでの取り組み」 医歯学域医学系 松成裕子氏
「原子力防災に関する薩摩川内市の取り組み」 薩摩川内市原子力安全対策室 遠矢一星氏
概要

松成氏は、本学大学院保健学研究科に設置された放射線看護専門コースの概要や取り組み、医療における放射線看護、東日本大震災後の緊急被ばく医療体制などについて講演した。遠矢氏は、川内原子力発電所の概要、安全対策に関する薩摩川内市の取り組み、原子力防災計画の概要などを紹介した。セミナーには、教職員、学生のほか、鹿児島地方気象台、町内自治会等の学外関係者を含めて 31 名が参加した。



遠矢氏の講演の様子

第 13 回 平成 28 年 10 月 20 日（木）（担当：総合防災分野責任者 黒光貴峰 准教授）

講演

「歴史的文化財の保全のためのマッピング化の試みー文化財地理情報データベースの利用ー」
法文教育学域教育学系 深瀬浩三氏

「津波の数値シミュレーション」

理工学域工学系 柿沼太郎氏

概要

深瀬氏は、自然災害からの歴史的文化財等を保全するために、GISを活用したデータベース構築の重要性を指摘し、鹿児島県内の島嶼部を含めて調査研究を進めていることを紹介した。柿沼氏は、津波の数値シミュレーションの理論を解説し、さらに鹿児島湾の海底噴火や地すべりに伴う津波、日向灘地震に伴う津波を対象にした数値解析結果を講演した。セミナーには、教職員、学生のほか、海上保安庁、鹿児島地方気象台等の学外関係者を含めて36名が参加した。



深瀬氏の講演の様子

第14回 平成28年12月22日(木) (担当：水害・土砂災害分野責任者 安達貴浩 教授)

講演

「川内川流域における地域防災力向上のための研究」

理工学域工学系 安達貴浩氏

「平成18年7月豪雨時の降雨の時空間分布が川内川の水位上昇速度に与えた影響について」

理工学域工学系 齋田倫範氏

概要

安達氏は、川内川流域における地域防災力を向上させるために実施した住民の防災意識と避難行動に関するアンケート結果を紹介し、防災教育の重要性やリスクの予測精度の向上等について講演した。齋田氏は、平成18年北薩豪雨時の宮之城における急激な水位上昇の要因を山地降雨流出解析モデルによって検討し、避難勧告等の発令基準への応用について講演した。セミナーには、教職員、学生のほか、鹿児島地方気象台等の学外関係者を含めて30名が参加した。

第15回 平成29年3月21日(火) (担当：火山災害分野責任者 松井智彰 准教授)

講演

「火山噴火研究のための三次元気象レーダデータ解析ツール(ANT3D)について」

地域防災教育研究センター 眞木雅之氏

「火山災害と健康支援—地域の文化に即して」

医歯学域医学系 丸谷美紀氏